



田川地区平和センター

鶴岡市泉町8番57号 メール:tagawachiku-heiwa@sound.ocn.ne.jp URL https://ta-heiwa.com/

編集発行
田川地区平和運動推進
労働組合センター教宣部



共闘 支援

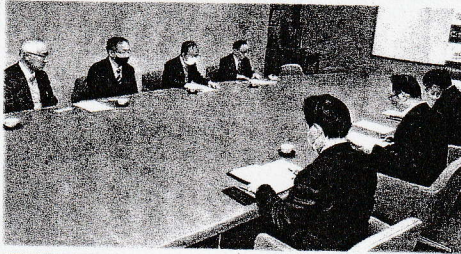
「ユニオン全国交流会・熊本集会開催される！ スローガンは「みんなが団結して、行動すれば、未来は開ける」

「鶴岡市新学校給食センター建設」について要請

要請では、過日開催しました「学校給食を考える集い」で出された「民間委託の心配、現場での工夫や努力、メニューの要望、子どもたちの意見聞いてほしい」等の要望も伝えました。
山形新聞2024年2月2日の記事を転載し、報告します。

新給食センター 直営堅持を要請

鶴岡市に市民会議
鶴岡市学校給食センター
(鶴岡センター)の老朽化に伴う新センター整備に關し、田川地区平和センター(荒井滋議長)などをつくる「田川地区学校給食を守る



要請書について説明する荒井滋議長(左から3人目)
鶴岡市役所

市民会議は1月30日、市と市教育委員会に対し、直営を堅持するよう要請した。要請内容は2項目で、他に子ども、保護者、栄養教職員、調理員、教育現場の教職員の意見、要望を聞き、その実現、反映を図ることを盛り込んだ。

荒井議長、斎藤秀隆真教職員組合田川地区支部長、小泉信三田川地区退職者連合会長らが市役所を訪れ、皆川治市長と布川敦教育長に要請書を手渡した。荒井議長が「災害時の対応を考えると学校給食は直営でしっかり調理してほしい」などと訴え、皆川市長は「広く意見を聞きながら取り組んでいきたい」とした。

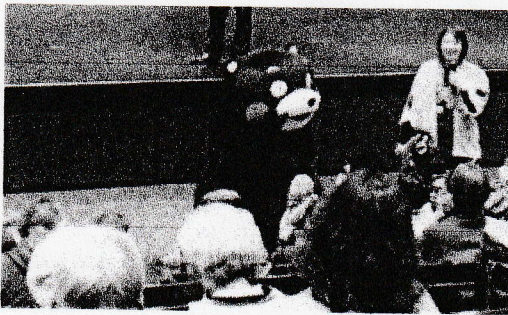
新センターは2029年度の稼働を目指し、建設地や事業手法、市内の他の四つのセンターとの集約化などを検討している。

(近岡国史)

ユニオン全国集会開催される

11月25〜26日、熊本城内シビックホールで、「みんなが団結して、行動すれば、未来は開ける！」をスローガンにユニオン・ユニオン全国ネットワーク全国交流会が、19都道府県、55余のユニオン・団体から280人の参加で開催されました。庄内ユニオンからも2人が参加して、全国の仲間と交流を深めました。

ユニオン・ユニオンは、「自分たちで組合を必要とし、結成して行動しており、どの取り組みも困難ではあるが、必死に生き活きと取り組んでいる」報告が印象的でした。
第8分科会の「組合をつくって闘おう」を報告します。



休憩後、「くまモン」が登場

第8分科会は、ユニオンの「組織化」をテーマに行われました。

24時間ストライキを実施した札幌地域労組千歳相互バス支部と、グーグルジャパン・ユニオンを結成した東京管理職ユニオンからの報告を受け、討論しました。討論で重要と思われたのは、職場にある問題点の共有化で、千歳相互バス支部は、2010年に従業員の過半数を組織して結成され、以後14年間、組合を守ってきました。しかし、最近、組合脱退者が続き、存続の危機にありましたが、今回のストライキをきっかけに、これまで組合と距離をおいていた従業員がたくさん組合に入ってきたそうです。なぜそんなことができたのか、その秘訣を知りたいと思いました。

札幌地域労組の鈴木一副委員長は、「社長が交代し、退職金カットやパワハラなど、悪いことをやりだした。支部長はじめ組合員がそんな経営に怒り、闘ったことで、職場の労働者の共感を呼び、組合の必要性を呼び覚ましたこと。もう一つは、支部長の信頼が厚く職場に良い雰囲気をつくり、職場の仲間の不満や要望を取り上げて交渉をしたのが、成功の秘訣である。」と報告しました。

鈴木副委員長は、組合役員が心掛けることとして「職場にある問題点を共有化すること。そのために、①組合員と話し込み、聞き込みをすることが大切。②そして問題を共有化し、解決策を一緒に考え、方針を決定し指示す。」ことだと言います。この「職場の問題点の共有化が大切だ」と思いました。

《東北労働金庫鶴岡支店》
生活応援バンク
R 三つきん
鶴岡市末広町1-12
TEL22-3147
労働者のための、ふれ愛バンクです

こくみん共済 COOP <全労済>
共済 ショップ 鶴岡
鶴岡市泉町8-73 TEL 23-6100
全国労働者共済生活協同組合連合会

いつまでも住みつづけられるまちづくりをめざして！
生活協同組合 共立社
COOP 本部 鶴岡市宝田一丁目3-23
TEL0235-22-5110 FAX23-9148